

第10回 PFI 事業ベストパートナーズアワード 開催レポート

開催日時 : 2025年5月8日(木) 午後1時～午後2時

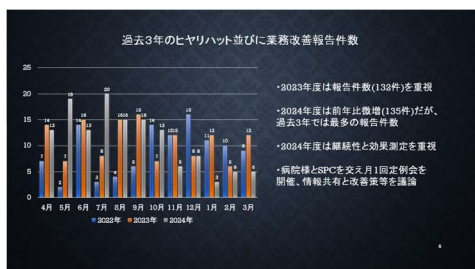
会場 : 八尾市立病院 北館501会議室

八尾市立病院では PFI 事業契約に基づくインセンティブ制度を 2014 年度より運用しており、今回は 10 回目という節目を迎えました。業務の評価はこれまでと同様に、下記の 3 タイプでの運用となります。

- ① 新規／改善提案の実施による「病院収益の向上」または「病院事業のコスト削減」に対する貢献
- ② 病院の健全経営達成に対する貢献
- ③ 継続的なサービスの維持・向上に対する評価

このうち、上記③「継続的なサービスの維持・向上に対する評価」として SPC から推薦した 3 業務（1. 検体検査業務、2. 食事提供業務、3. 院内保育施設の運営業務）による、モニタリング委員及び事業評価部会員に対するプレゼンテーション「PFI 事業ベストパートナーズアワード」が開催されましたので、その結果について報告いたします。

プレゼンテーション① 検体検査業務



プレゼンテーション② 食事提供業務



推薦理由 (取組の効果)

- ▶ 病態に合わせた食事の提供により、医療の質の向上
- ▶ 特別食加算算定率 目標36%達成の後押し (診療報酬up)
- ▶ 付加食品の使用削減 (費用削減)

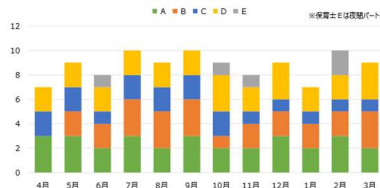
プレゼンテーション③ 院内保育施設の運営業務



職員間のコミュニケーション

ヒヤリ・ハット事象の共有 (職員別報告状況)

職員別ヒヤリハット報告数 (2024年度)



講評



対象業務を担当する SPC のマネージャー及び協力企業より 1 年間の取り組みについてのプレゼンテーションを実施したうえで、日常の業務に対する評価を踏まえて推薦 3 業務に対する審査員投票が行われました。

審査結果は以下の通りです。

- 1 位 食事提供業務（シダックスフードサービス株式会社）
- 2 位 院内保育施設の運営業務（ヒューマンアカデミー株式会社）
- 3 位 検体検査業務（株式会社日本医学臨床検査研究所）

ベストパートナーズアワードという形式から、順位はつくものの、いずれの業務も年間を通じて継続してサービスの維持、向上に努めたことは審査員の皆様にも十分に伝わったと考えています。

私たちは、長期契約・性能発注という PFI の特徴を最大限発揮するため、PFI 事業者全体で「病院の 1 部署・1 職員として機能する」ことを目標の 1 つとして掲げ、その実現に取り組んでおります。

毎年実施していただいている「PFI 事業ベストパートナーズアワード」ですが、自分たちの積極的な取り組みを理解いただくことにより、より一層の院内コミュニケーションの活性化にもつながるのではと期待しています。

今後もサービスレベルの向上、自主的・積極的な品質管理に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

2025 年 5 月 28 日 表彰式が開催されました

藤田病院長から講評として、検体検査業務についてはチーム医療への貢献やインシデント防止の取り組みを評価したとのお話がありました。院内保育の運営業務については、こども主体の運営を工夫しており、内外とのコミュニケーションについて評価したとのお話がありました。食事の提供業務については、病態に合わせた献立展開や工夫、診療報酬の加算や病院のコストにまで目を向けた活動について評価したとのお話がありました。

表彰式のあと、病院長から、表彰された企業だけではなく、この他にも多くの PFI の協力企業があり、病院職員と一体になり同じ方向を向いていることが当院の特徴であり、非常に良い部分であるので、引き続き頑張ってほしいとのご挨拶がありました。



2025 年 5 月 30 日
八尾医療 PFI 株式会社